

飢餓のない世界を目指して

# 食糧支援 ニュースレター



World Food Programme

wfp.org/jp

APRIL 2012 | Vol.36

## TOPICS

- 西アフリカ、サヘル地域の干ばつ
- 支援の現場から - 南スーダン
- 震災から一年  
被災地で活用続くWFPのテントとプレハブ
- 「RED CUP CAMPAIGN」  
キャンペーンレポート
- 私たちのWFP支援 株式会社静鉄ストア
- 「WFPウォーク・ザ・ワールド」参加者募集
- 国連WFP協会 2011年度 寄付実績報告



© WFP / Phil Behan

## サヘル

～干ばつが深刻な地域～



## 西アフリカ、サヘル地域の干ばつ

この10年で3度目となる大干ばつが西アフリカのサハラ砂漠南縁に広がるサヘル地域を襲っています。食糧価格の高騰や内戦などもあまって、一千万人以上が飢餓にさらされています。同地域の食糧備蓄が最も少なくなる季節が近づいており、WFP及びその他の国連諸機関や被災国、支援国・団体の代表は、今すぐ行動をとらなければならぬと呼びかけています。

この度の干ばつは非常に広範囲に及び、ニジェール、チャド、マリ、セネガル、モーリタニア、ブルキナファソ、カメルーンなどがその被害を受けています。過去5年平均値と比べてブルキナファソでは14%、モーリタニアでは46%も穀物の収穫量が減少しています。生活に必要な収穫を得られなかった農家は、市場で食糧を購入するしか手立てがな

く、食糧不足の状況は悪化の一途をたどっています。ニジェール政府は、550万人以上の国民が、飢餓に陥る危険があるとし、迅速な対応を訴えています。また、チャドにおいてはサヘルに属する11地域のうち、6つの地域で人びとの栄養状態が危機的であり、その他5つの地域でも人々の深刻な栄養不良の状態が確認されています。

WFPは、ニジェールで373万人、チャドで195万人、マリで113万人、セネガルで69万人、ブルキナファソで57万人、モーリタニアで52万人、カメルーンで19万人と、およそ880万人の被災者への食糧支援を目指し支援を拡大しています。特に、2歳未満の子どもの栄養不良を食い止めるため、WFPは栄養強化食品を配布しています。また、地域

住民と協力して灌漑用水路等の建設を行い、その工事に参加した人に労働の対価として食糧を提供したり、食糧配給券を支給したりして、地域経済の活性化と地産地消を推進する等し、脆弱な地域が近い将来、自立していけるように働きかけています。WFPが今回サヘル地域で計画通りに支援を行うために、8億ドル以上が必要です。皆様の温かいご支援をよろしくお願いいたします。



## 支援の現場から - 南スーダン「人びとに食糧を届けるのは、時間との闘いです」

世界で最も新しい国、南スーダンでは、紛争、凶作と食糧価格の高騰などの影響で飢餓が拡大しています。昨年の穀物収穫は、前年比で19%下回り、過去5年間の平均と比較すると25%減でした。雨季の遅れによる凶作や、農作業を妨げる不安定な政情、避難先から故郷である南スーダンに帰ってくる人が増えるとともに、食糧の需要も増していることなども食糧難の原因となっています。WFP南スーダン事務所代表のクリス・ニコイは、「南スーダンでの緊急支援は時間との闘いそのものです。」と厳しい状況を訴えています。クリス・ニコイに活動詳細を尋ねました。

### 今年、南スーダンのどれくらいの人びとが飢餓に陥るリスクを抱えているのでしょうか。

2012年、南スーダンの全人口の約半数にあたる470万人が食糧不足に直面することになるでしょう。そのうちの100万人は、既に深刻な食糧不足で苦しんでおり、食糧支援を必要としています。WFPはこれに応じて、270万人を対象に食糧支援を行う予定です。



### 支援を必要とする人びとに食糧を届ける上で、どんな課題がありますか。

南スーダンは、世界で最も貧しい国のひとつです。道路が十分に整備されていないため、雨季に入ると国土の60%が通行不可能になります。雨季が始まる前に適切な場所に食糧を届けられるよう急がなければなりません。こうした問題に加えて、スーダンと南スーダンの国境が閉



鎖されているため、食糧を南スーダンに入れるための新たなルートや手段を見出さなければなりません。ケニアからの輸送も困難となったため、ジブチから食糧を運びこむルートを開拓しました。タンザニアなどの国からも食糧を調達しています。

### 現在の南スーダンにおける食糧危機の主な要因は何でしょう。

一つ目の原因は、10月と11月の雨季の遅れによる農作物の不作です。二つ目は、約35万人の人々の住み家を奪った紛争です。紛争は難民・避難民発生の原因となり、難民の増加は農業生産に影響を及ぼします。これらに加え、スーダンとの国境の閉鎖や、数十万人の南スーダン人がスーダンから帰還し始め、食糧の需要が増えていることも要因です。

**WFPは南スーダンで緊急食糧支援を行っていますが、長期的な食糧安全保障を確保するためにどのような活動を実施していますか？**

天候の異変は避けようがありませんが、重要なのは対応力を持つということです。そのためWFPは、農産物の生産、貯蔵や市場アクセスの改善を図るための支援を行っています。具体例としては、農民が作物を市場に運送しやすくするための道路整備への支援です。もう一つの重要な活動が、次世代を担う子どもたちの心身の健全な発育を支える栄養支援です。

### 今後、更にどんな支援が必要になるでしょう。

現在、南スーダンでは、耕作が可能な土地のうち4%程しか耕作されていません。農業発展への大きな可能性があります。しかし、その可能性を生かすには、まず人びとが普通の生活を送るための地域の平和と安定が必要です。そのためには、飢餓に苦しむ地域への食糧支援は欠かせません。

### PHOTOS

1 避難する人びとの話を聞くクリス・ニコイ(左)

2 避難する難民のほとんどは女性と子どもたち

## 震災から一年 被災地で活用続くWFPのテントとプレハブ



東日本大震災から一年が経ちました。あらためて、犠牲になられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、今日もなお、大変困難な状況におられる被災者の皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。

WFPは震災発生5日後から4カ月間、被災地への支援活動を行い、その一環として救援物資倉庫等に使える大型テント45張と、事務作業等に使えるプレハブ36棟を、岩手・宮城・福

島の17市町村に設置しました。これらのテントやプレハブは今でも活用され続けています。例えば、宮城県・南三陸町の総合体育館の駐車場に建てられた大型テントは、現在も災害ボランティアセンターとして使われており、ボランティアの受付や打ち合わせ、ボランティア活動に必要な工具等の倉庫などとして活用されています。また、テント横にはプレハブが5棟並んでおり、その一部は、がれきの中から見つかった写真など思い出の品を探す「思い出写真館」として使われています。一方、同じく南三陸町に救援物資倉庫として建てられたもう一つのテントは、現在は漁業協同組合の漁具の保管倉庫として使用されており、漁師の方々の漁

業再開を支えています。

WFPと国連WFP協会は、被災地の一日も早い復興をお祈りしています。



### PHOTOS

1 災害ボランティアセンターとして使われているWFPの大型テント

2 「思い出写真館」として使われているWFPのプレハブ

# 「RED CUP CAMPAIGN」キャンペーンレポート



地球の飢餓を救え。

# WFP

国連世界食糧計画

「皆さんの力で、給食が届く、世界がより良くなっていく。」を願いとして、国連WFP協会は、企業各社と一般個人の皆様とパートナーになり「RED CUP CAMPAIGN」を展開しています。

現在、売り上げの一部を寄付する支援を実施していただいている企業をご紹介します。1人でも多くの方々がこの取り組みをサポートして下さることが、1人でも多くの子どもに栄養たっぷりの給食を届けるという目標につながります。多くの方々にキャンペーンについて知っていただき、支援の輪が広がることを願っています。

## プリマハム株式会社

2012年2月20日～2012年8月20日の間、「直火焼ハンバーグ」1パックお買い上げごとに1円がこのキャンペーンを通じてWFPに寄付されます。



© プリマハム株式会社

**プリマハム 執行役員  
加工食品事業本部 事業統轄室長  
田嶋 和弘さんからのメッセージ**

「『食』に直接携わる企業として、プリマハムは2005年よりWFPの活動を支援しています。世界には、WFPが配る給食が1日の唯一の食事となる子どもたちがいると聞きました。当社がこのキャンペーンに参加することが、一人でも多くの方に子どもたちの飢餓の現状について知っていただくことにつながれば、と考えています。一人でも多くの子どもが、学校で学び、給食を食べることが出来るようになることを願っています。」

## 日清食品株式会社

2012年4月1日～2013年3月31日の間、「日清チキンラーメン」1食につき0.2円、「日清チキンラーメンどんぶり」1食につき0.34円がこのキャンペーンを通じてWFPに寄付されます。



© 日清食品株式会社

**日清食品 マーケティング部第3グループ  
ブランドマネージャー  
森 常恭さんからのメッセージ**

「日清食品グループでは、『世界中のがんばる子どもたちを応援する』をコンセプトに、このレッドカップキャンペーンの参加を決定いたしました。今回、チキンラーメンを通じて、WFPの学校給食支援に協力することができ、大変嬉しく思っております。一人でも多くの子どもが飢えることなく、健全に成長し、学ぶことができるように願っています。これからも、一人でも多くの子どもが貧困を克服できるように支援を行っていきたく考えています。」

## INFORMATION

WFPのグローバル・パートナーとしてユニリーバは、2006年からWFPの「学校給食プログラム」を支援しています。2012年4月から2013年3月までは、森永乳業株式会社が製造・販売を行っている「リプトン1000ml 紙パックシリーズ」の売上の一部が寄付になる支援キャンペーンを展開しています。



© 森永乳業株式会社



キャンペーンウェブサイト  
[www.redcup.jp](http://www.redcup.jp)

でキャンペーンの詳細をご覧ください。



本ウェブサイトでは、個人の皆様に向けて、継続的にWFPの活動を支援していただく「WFPマンスリー募金」へのご協力をお願いしています。今なら新規加入または、支援額を増額くださった方々に携帯ストラップを差し上げています。ぜひご協力ください。

## 私たちのWFP支援 株式会社静鉄ストア

静岡県中部を中心に33店舗を展開するスーパーマーケット「しずてつストア」(株式会社静鉄ストア)は、2011年2月から全店をあげて、リサイクル活動を通じた学校給食プログラム支援を行っています。お客様が店頭を持ち寄る使用済みのペットボトルやアルミ缶、牛乳パックといった資源ごみは、リサイクル業者に有償で回収され、それによって得られた収益金から必要経費を差し引いた全額が国連WFP協会に寄付される取り組みです。資源リサイクルを行うことで、循環型社会の推進につながるのみならず、WFPを通じて学校給食となり、飢えに苦しむ子どもたちに栄養と希望が届けられる。まさに地球の「持続可能性」に貢献する活動となっています。「しずて

つストア」の店頭には、この取り組みに対する理解、協力を呼びかけるポスターが貼られ、来店されるお客様へ支援の輪が広がっています。また、有料レジ袋の販売によって得られた収益も寄付金に加えられ、これまでのご支援の総額は22,184,854円に上っています。ご担当の開発部 中村さんは、「当社は皆様の食を担う企業としての立場から、国を越えた食から食への支援に力を入れて取り組む所存です。一人でも多くの方が、世界の飢餓問題や子どもたちへの学校給食支援について知り、考える機会が増え、理解・支援の輪が広がるよう努力し続けたいと考えております。」と話しています。



WFPへの支援を呼びかけるポスター



# 「WFPウォーク・ザ・ワールド」参加者募集



## 【実施概要】

開催日	2012年5月27日(日)
開催地	横浜みなとみらい地区(スタート会場: 臨港パーク)
コース	5km、10km ※各コース定員2,000人
スケジュール	9:00 受付開始、9:30 開会式、 10:00 10kmスタート、10:30 5kmスタート
参加費	一般1,500円(当日2,000円)うち1,000円を募金 小学生500円(当日800円)うち200円を募金 ※保険料、参加記念品を含む。 ※未就学児は無料(但し、募金、保険、参加記念品はなし)
申込締切	5月13日(日)※定員になり次第締切ります。

さらなる詳細は [www.wfp.or.jp/wtw](http://www.wfp.or.jp/wtw) をご覧ください。

## 【お申込み】

<b>①インターネットで</b> <a href="http://www.sportsentry.ne.jp">www.sportsentry.ne.jp</a> スポーツエントリーホームページ内 (携帯電話可)	<b>②お電話で</b> ※通話料は利用者負担となります。 <b>TEL 0570-550-846</b> スポーツエントリー内 (受付時間: 平日10:00~17:30)
---	---

※お申込みには、参加費の他にスポーツエントリー利用料がかかります。

## 【お問い合わせ】

**0120-711-951** (受付時間: 平日10:00 ~ 17:30)  
スポーツエントリー内

国連WFP協会は、5月27日(日)、子どもたちの飢餓をなくすためのチャリティーウォーク「WFPウォーク・ザ・ワールド」を横浜で開催します。これは、飢餓問題への認識を高めると共に、参加費の一部を募金することを目的に、世界各地で展開される地球規模のイベントです。本イベントは、WFPの学校給食プログラムへの支援の輪を広げるために実施している「レッドカップキャンペーン」の一環として開催されます。集まった募金は、WFPの学校給食プログラムに役立てられます。当日は、横浜ベイエリアや横浜を代表する赤れんが倉庫、山下公園などを歩きます。ぜひ、ご家族・ご友人を誘ってご参加ください。

## 国連WFP協会 2011年度 寄付実績報告

2011年度(2011年1月~12月)に国連WFP協会に寄せられた企業・団体、個人の皆様からの現金でのご寄付は、合計で約7億6,800万円となりました。特に、東日本大震災に対する募金活動の際は、多くの皆様にご支援をいただき、2億9,000万円が寄せられました。また、「アフリカの角」地域で発生した食糧危機に対する緊急支援をはじめ、各国での学校給食プログラムなど、皆様よりWFPの活動に対し、深いご理解と多大

なご支援を賜ることができました。改めて皆様の温かいご支援に御礼申し上げます。

お預かりしたご寄付のうち、東日本大震災被災地での支援活動に対するご寄付は、全額WFPの支援活動に役立てさせていただきました。その他の活動に対して寄せられたご寄付のうち3億5,800万円を超える資金は既にWFPローマ本部に送金し、各国で行われているWFPの活動に活用させていただいて

おります(注)。詳しいご寄付の用途につきましては、ホームページ([www.wfp.org/jp](http://www.wfp.org/jp))に随時レポートを掲載いたしますので、ご覧ください。

(注)ご寄付の75%以上はWFPローマ本部に送金され、途上国での人道支援活動に活用されます。また、ご寄付の25%の範囲内で、国内での募金活動、広報宣伝費、管理費等の運営経費に充当しております。

## WFP マンスリー募金にご参加ください

毎月1,000円(一日あたり約33円)からの定額引き落としによる継続的な寄付の方法です。WFPが安定した支援活動を行っていくために大きな支えとなります。皆さまのご支援をお願いいたします。当協会へのご寄付は、寄付金控除等の税制上の優遇措置を受けられます。

### 例えば、

毎月 **1,000円** のご寄付を1年間で  
(一日あたり約33円)

6人の妊産婦に栄養たっぷりの食事を1ヵ月提供できます。



毎月 **3,000円** のご寄付を1年間で  
(一日あたり約100円)

栄養失調の子ども3人に栄養強化食品を1ヵ月提供できます。



毎月 **5,000円** のご寄付を1年間で  
(一日あたり約167円)

自然災害や紛争の被災者600人に栄養強化ビスケットを届けることができます。



### WFP マンスリー募金ご参加方法

- 銀行またはゆうちょ銀行口座から
- クレジットカードから

お申込み、  
お問い合わせは  
こちらから ▶▶▶

**0120-496-819**  
受付時間9:00~18:00(年末年始を除く毎日)  
携帯電話・PHSからもつながります  
**お電話で**  
インターネットで [www.wfp.org/jp](http://www.wfp.org/jp)

携帯電話で  
モバイルサイトは  
こちらのQRコード  
から ▶▶▶▶▶



特定非営利活動法人(認定NPO法人) 国連WFP協会 〒220-0012 横浜西区みなとみらい1-1-1 パシフィック横浜6階  
 0120-496-819 受付時間 9:00~18:00(年末年始を除く毎日) [www.wfp.org/jp](http://www.wfp.org/jp)